

令和5年度(2023年度)
厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)
分担研究報告書

拠点病院集中型のHIV診療から、地域分散型のHIV患者の医療・介護体制の構築
透析患者、CKD患者における地域連携

研究分担者 矢幅 美鈴 千葉大学医学部附属病院 感染制御部 助教

研究要旨：エイズ拠点病院集中型から地域連携を重視したHIV診療体制の構築で課題となるのは拠点病院以外のどの病院でHIV感染者の診療を担うのかである。本研究では血液透析を要するHIV感染者の診療体制の整備が目的である。2021年度構築した千葉県透析ネットワークであるが、行政へ働きかけ県からの呼びかけを行うことの登録施設数を増やすことができた。

A. 研究目的

HIV感染者の長期予後が見込めるようになり、それに伴いHIV感染者の高齢化が顕在化してきている。高齢化により糖尿病をはじめとした生活習慣病の合併が増加しており、腎機能障害を生じた患者も稀ではない。HIV感染者においても慢性維持透析が必要な患者数の増加も見込まれている中、厚生労働省からは全国の都道府県に対し、HIV感染患者の維持透析を行う透析施設のネットワーク作りが求められている。千葉県においても透析患者の診療体制の整備のため透析ネットワークの構築を行うことを目的とする。

B. 研究方法

2021.3千葉県HIV透析ネットワークが設立された。2022事務局を千葉大学病院に移動した。千葉県HIV治療拠点病院に参加登録を呼びかけた。また第7回千葉県HIV医療連携セミナーを行い、HIV患者の透析受け入れに対する啓蒙活動を行った。ロールモデルとなる北海道の透析ネットワークでは参加登録病院数を増やすために行政からの働きかけが有効であったことから、千葉県疾病対策課にも登録依頼の働きかけをお願いした。千葉県の協力が得られるようになり、2023年2月より県よりHIV透析ネットワーク参加募集を行う方向となった。

C. 研究結果

千葉県HIV治療拠点病院に参加登録を呼びかけたり、また千葉県への協力依頼により2023年2月以降は千葉県からのHIV透析ネットワーク参加募集の呼びかけもあり、登録施設数は20施設へ増加した。

図1 現在の登録状況

現在の登録状況 計20
(医療圏別) 2023年6月

千葉	5
東葛北部	4
東葛南部	6
香取海匠	1
山武長生夷隅	1
安房	1
君津	1
市原	1

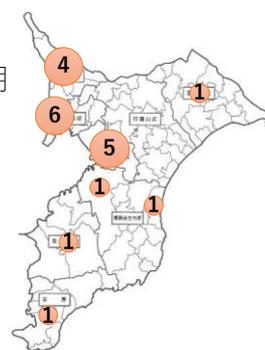


図3 千葉県二次保健医療圏

D. 考察

昨年に比較し登録施設数を増やすことはできたが、さらに登録施設数を増やすためにもHIV患者の透析受け入れに対する啓蒙活動や県や拠点病院への働きかけなどを継続していく必要がある。

E. 結論

千葉県透析ネットワークを構築し、行政からの働きかけもありその登録施設数も増えている。

F. 健康危険情報

現時点で、該当事項はなし。

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし